

科目名	災害と人間行動			ナンバリング	REC252	授業形態	講義
対象学年	3 年	開講時期	前期	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	名取洋典	担当教員	林洋一、山本佳子				

授業の概要	本講義では、災害時の人間の行動にみられる傾向についての基礎的知識を修得し、将来の防災・減災へとつなげること、ならびに災害後の復興を支援するなかで活用できるようになることを目的とする。目的を達成するために、3部に分けて授業を構成する。第1部では、災害時の人間の行動にみられる傾向について講義する。第2部では、東日本大震災時に実際に何が起こったのか講義する。第3部では、東日本大震災時の心理面を中心とした支援について講義する。各部の最後には、討論会を実施し、より深い理解を目指す。						
到達目標	1 災害時の人間の行動にみられる傾向について説明できる。 2 東日本大震災を例に、災害時の支援の在り方について自らの意見をまとめることができる。 3 災害復興を支援する際に生かすことのできる情報を得ることができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	新聞やテレビ報道などにも関心を向け、実社会の中で復興がどう進行しているのか、様々な災害時において人間はどのように行動してきたのかについて興味をもつことが必要です。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	○	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
	○	5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1 災害時の人間の行動にみられる傾向について、授業内容に基づいて説明できる。 2 東日本大震災を例に、災害時の支援の在り方について自らの意見をまとめることができる。 3 災害復興を支援する際に生かすことのできる情報を得ることができる。	1 災害時の人間の行動にみられる傾向について、授業内容に基づきながら、的確に説明できる。 2 東日本大震災を例に、災害時の支援の在り方について自らの意見をまとめる、適切に表現することができる。 3 災害復興を支援する際に生かすことのできる情報を得て、実際の生かし方まで考えることができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
授業内小課題の提出状況			○	○			20%
授業内小課題の内容	○	○	○		○		30%
討論会での取り組み	○		○	○			10%
中間テスト	○	○					10%
期末レポート	○	○			○		30%

課題、評価のフィードバック	1 授業の中で実施するmanab@IMUの機能を利用した小課題への回答、疑問、感想などを選択したうえで、次回の授業でコメントする。 2 manab@IMUで提出された課題については、manab@IMU上でもコメントを返す。 3 期末レポートの評価基準をmanab@IMUに掲載する。
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	イントロダクション (名取)	授業の進め方と評価方法について説明する。	
	第2回	なぜ人は逃げないのか1 (名取)	正常性バイアスについて解説する。	
	第3回	なぜ人は逃げないのか2 (名取)	バイアスをどう乗り越えるのかについて解説する。	
	第4回	なぜ人は逃げないのか3 (名取)	パニックについて解説する。	
	第5回	「心のブレーカー」を上げる1 (名取)	失見当について解説する。	
	第6回	「心のブレーカー」を上げる2 (名取)	失見当に打ち勝つ方法について解説する。	
	第7回	「心のブレーカー」を上げる3 (名取)	心のブレーカーを上げる必要性と方法について解説する。	
	第8回	まとめ1—中間テスト (名取)	これまでの内容についてのテストを行う	
	第9回	東日本大震災時の実際1 (林)	東日本大震災時に何が起こったのか説明する。	
	第10回	東日本大震災時の実際2 (林)	東日本大震災時に何が起こったのか説明する。	
	第11回	討論会1 (林・名取)	第9回、第10回の情報提供をもとに討論会を行う。	
	第12回	東日本大震災時の支援の実際1 (山本)	東日本大震災時の支援の様子について説明する。	
	第13回	東日本大震災時の支援の実際2 (山本)	東日本大震災時の支援の様子について説明する。	
	第14回	討論会2 (山本・名取)	第12回、第13回の情報提供をもとに討論会を行う。	
	第15回	まとめ2 (名取・林・山本)	期末レポートを作成する。	
	試験	定期試験は実施しない。		
授業の進め方		講義形式の授業を行った後、中間レポート課題や討論会を行い、深い理解につなげる。		
授業外学習の指示		授業前には、配布資料を熟読し、疑問点を明らかにしておくこと。授業後には内容を復習すること。また、中間テストに備えて内容を復習すること、さらに、討論会に向けて準備をしておくこと。 (授業外学習時間： 毎週 180 分)		

教科書	毎回配付する資料に従って、授業を進めてゆく。
参考書	適宜、授業内で紹介する。
参考URLなど	
その他	資料の配布、課題の提出にはmanab@IMUを利用する。